

# 福島第一原子力発電所 G 6 タンク移送配管からの滴下について

## 1. 時系列

4 / 20	17 : 15頃	G 6 移送前のラインナップ確認実施
	17 : 45	G 6 移送操作開始
	18 : 00頃	当該部分漏えいなし確認
	18 : 54	ポンプ停止 (以降、移送ラインへのポンプ起動なし)
	19 : 20頃	G 6 タンクから J 1 タンク間の配管で水の滴下を確認 1 滴 / 1 秒。速やかビニール養生実施
	19 : 39	滴下箇所隔離操作実施
	22 : 00頃	応急処置実施(吸水材・土嚢・保温材取り外し養生)
4 / 21	15 : 00頃	当該部養生内の溜まり水は増加していない事を確認した

## 2. 対応事項

- ・当該漏えい部全体の雨養生の実施済み。現在漏えい部の土壌回収実施中  
引き続き、以下の対応を実施。
- ・配管内の水抜き操作
- ・水抜き後のフランジ部外観点検、フランジの分解点検  
今後、滴下の原因について調査していく。

## 3. 漏えい水 (性状)

全	: $2.6 \times 10^5$ Bq / L
Cs - 134	: $1.1 \times 10^3$ Bq / L
Cs - 137	: $5.1 \times 10^3$ Bq / L
Co - 60	: $1.5 \times 10^3$ Bq / L

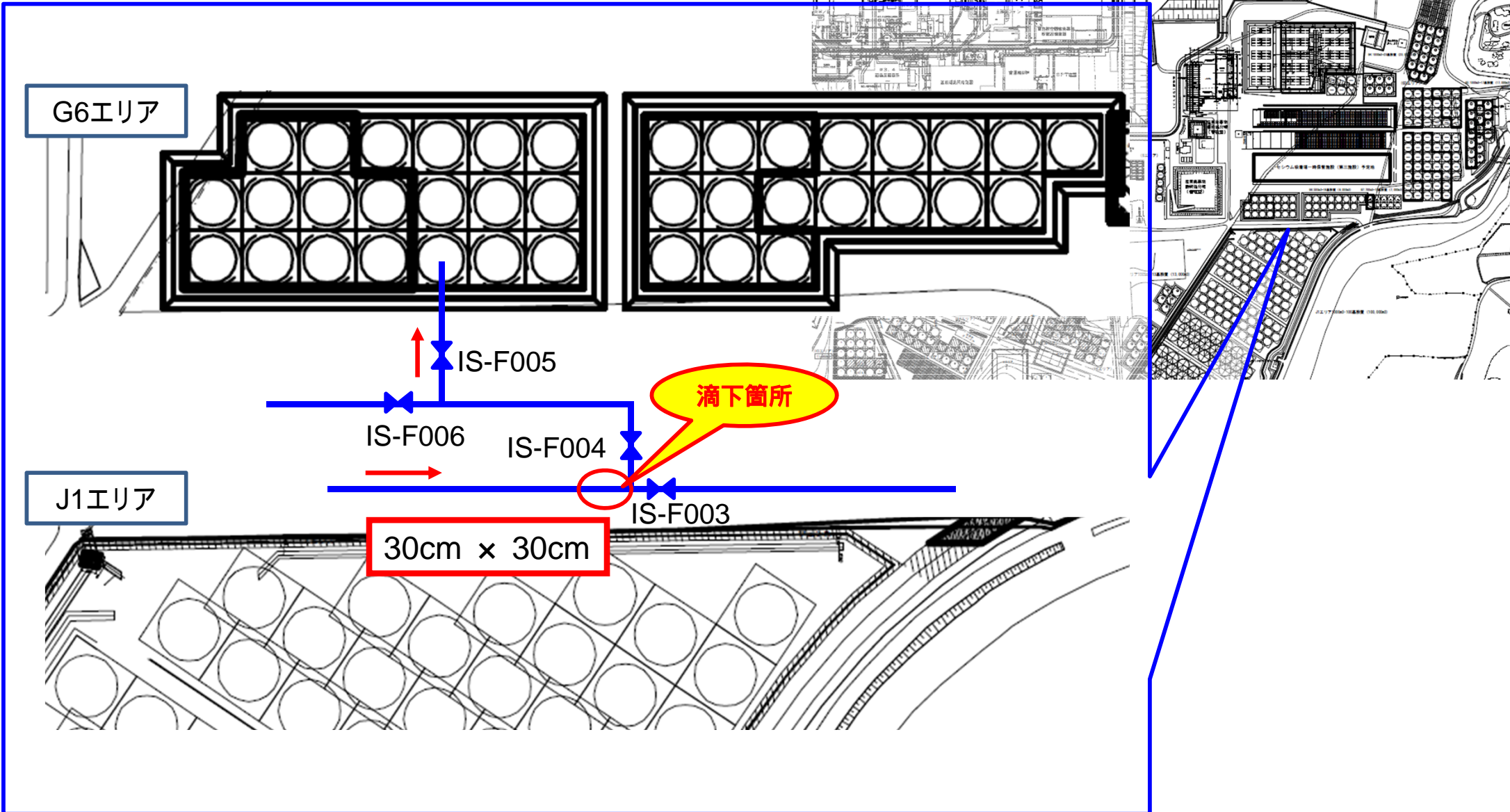
## 4. 漏えい量

約 2.7 L (1 秒 1 滴が 90 分継続したと推定した場合)  
C 排水路までは約 70 m 離れており、海へ接続する排水路への排出はない。

## 5. 参考

移送先を G 6 タンクエリアから G 4 タンクエリアに切り替えて、ストロンチウム処理水の移送処理は継続している。

## 6 . 漏えい箇所

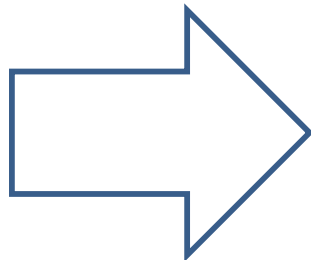


## 7. 漏えい状況

滴下箇所



保温材取外し



フランジ吸水マット

## 8 . 応急処置

吸水材設置



土のう設置

